





あのー…
聖女様

本当に
おひとりで
行くんです？

…
私は

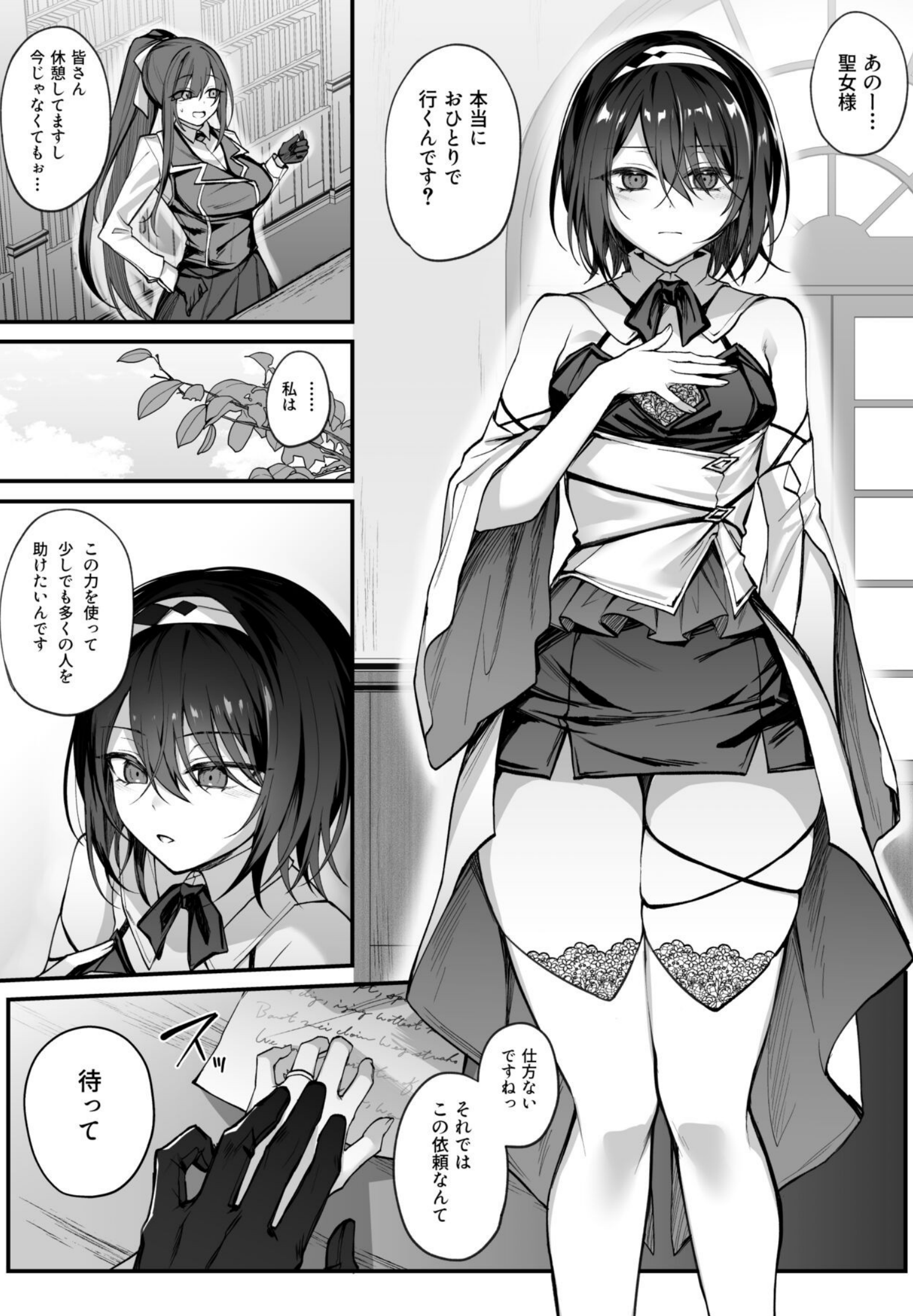
皆さん
休憩しますし
今じゃなくてもお…

この力を使って
少しでも多くの人を
助けたいんです

待つて

仕方ない
ですねっ

それでは
この依頼なんて



僕も一緒に
行って良いかな

探したよ
リズ

え……





……
そいつ誰？

そんなに
警戒しないでよ



初めまして
勇者くん

僕はレイ
リズの友人だよ



ね？

ッ……



はー……
わかったよ



ネ、ネロ……
あのっ



暫く彼女を
借りるけど

良いかな？



それじゃ
行こうか
リズ



あ……



や……っ
まって……



気を付けて
っつてっつて



いや
でも……っ

あいつらは
友達
なんだろう？

さあな
そういうの
よく分かんねえし

……あんまり
深入りしない方が
良いぞ



ねえ……あの男
怪しくない？

行かせて
良かったのかなあ



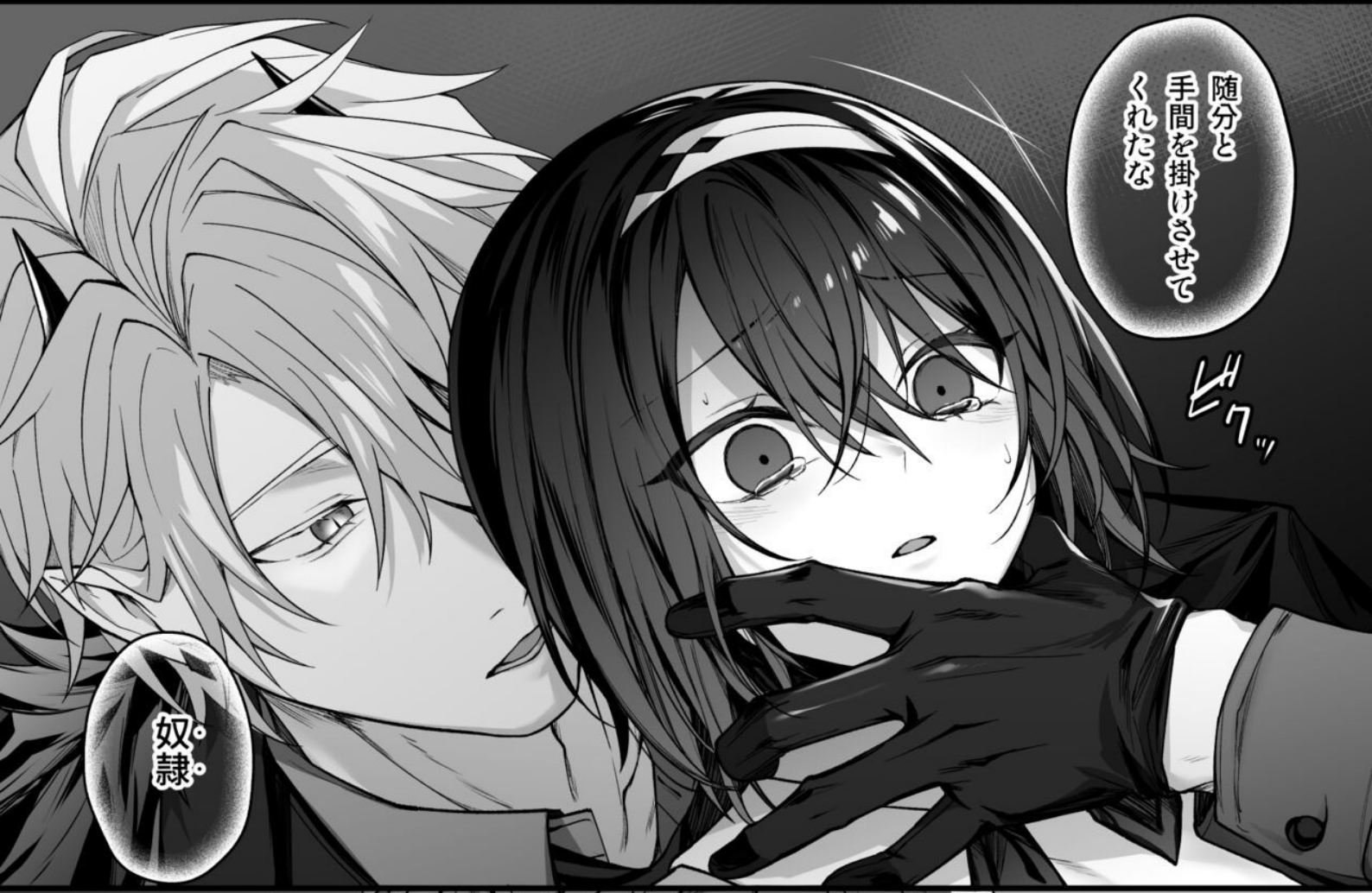
まっ
まっ
まっ
下さ
いっ

黙
って

ッ
……

言い訳なら
此処までに
沢山聞いた

全
く……



随分と
手間を掛けさせて
くれたな

ヒクッ

奴
隷



君は聖女
なんかじゃない

くだらないことは
今すぐにやめろ
それと……



ひ...あ...っ

仲間...
ね...

くちゅっ



あんな人間共の
一体どこが
気に入ったの？

ピク

仲間のこと
悪く言わないで
ください...っ



その仲間は
君が

僕の声
聞くだけで
発情するような

ドクン

とろお...♡

はしたない女
だって
知ってるの？



もうあの時と
同じ思いは
したくない...



何？

はつきり
言えよ

んんっ♡



嫌なのに
身体が覚えてる...っ

ギ...
ギル様...っ



ははっ凄いな
もうべとべとだ

あ...♡

プ
チゅっ

私には
屋敷へ来る前の
記憶がない

とある貴族に
拾われた
私の仕事

それは次期当主の
ギル様を
愉しませること

今日から
君の名前は
リズだ

それに
何の疑問も
抱かなかったし

ギル様は

短い方が
好きなんです
覚えておきます

幸せだとまで
考えるように
なっていた

でも
数年が経ち……

おい
その黒髪……

あの街の
生き残りか？

きっかけは
勇者と名乗る少年を
助けたことだった

……ああ
全部知って
しまったのか

消されていた
記憶と仕事の意味
信じたくなかった

逃げるな

君は僕の
所有物
奴隷なんだよ

だから
何も考えず
ただ言いなりに

ずっと
此処に居ろよ

なっていれば
良いんだ

ああ、私も
ただの奴隷と同じなんだ……

淫魔は人間を
食べて生きている
そう思うと……

僕のことを
怖いのか？



え……？

本当に
わからないの？

……

ギル様が
何を考えて
いるのか
わかりません



寂しいと
思ったんだ

君が……
いなくなっ
てしまっ
て



本当に

おかしく
なるかと思ったよ

僕は君が
思ってるより
ずっと……

君に
依存してた
みたいだ



今までのこと
全部

舌
出して

痛い思いは
したくない
でしょ？

ギ
ヂッ

ッ……

良い子

ム
ヂッ

ズル

なかったら
なんてさせない

んっ……
ふ、うう

あっ

ズ
ヂッ

グ
ヂュ

やっ……



やめてください
私は……っ
変わったんです

だから……っ

勘違い
するなよ

魔法が使えるのも
僕から盗った
マモノの指輪の
おかげだろ？

ッ……

あのまま
何も知らなければ

リスは僕だけのもの
だったのに
あいつのせいで……

仕方ないな
もう一度
躰直してやるよ

はっ
感じやすい
身体だな

ヌル……♡

また勝手に
反応して……っ

チュウ♡♡

そうしたのは
僕だけど

や
いたい……っ

でも
まだ間に合う
ちゃん♡……
はー♡

ソク……♡

キ
シ
ッ



嫌……

お願い
ですから……

……リズは

僕のこと
……嫌い？

ビクッ

そ……
それは……っ

ははっ
流石は聖女様
優しいね

ギシッ

こんな状態でも
はつきり
言わないんだ

でも
僕は

今みたいな君は
心底嫌いだ



手
震えてる
じゃないか

ははっ



もう遠慮は
いらないね
君を気遣って
最後まで
やってなかったけど



…少しは
僕の気持ち
がわかった？
拒絶されるのって
傷つくんだよ



覚悟しろよ

君さあ

僕がどれだけ
我慢してきたか
知らないだろ？

無理矢理
押さえ付けて
腰振って

何回も
中に出して
やるよ

大事な処女膜
僕のちんぽで
ぶち破って

あ……っ

リズ？

君は最初から
犯されたかったのか

……ははっ
そうか

なら
望み通りに
してやる

理解して
なかったのは
僕の方だった



ツッ
は……っあ、



テーブルに
手ついて

脚は
閉じるなよ

……リズ



あはは

本当に乱暴^{こっちの}な方が
感じるのか

優しくしてきて
損したよ



あっ
あっ

惨めに
イカされてれば
良いんだよ



そうだ

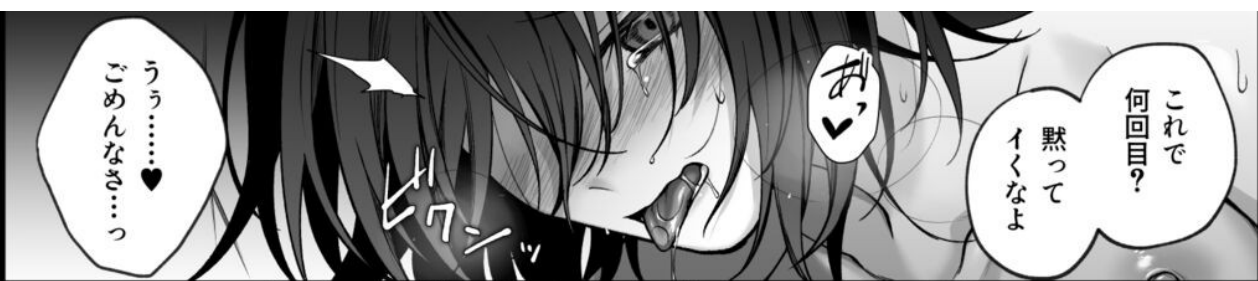
はっ

君は
人間のメスらしく



脚

開いとけて
言ったよね？



これで
何回目？

黙って
いくなよ

うう……♡
ごめんさ……っ



こんなにメス臭いの
撒き散らして
恥ずかしいの？

君は聖女様
なんだろう？
リス

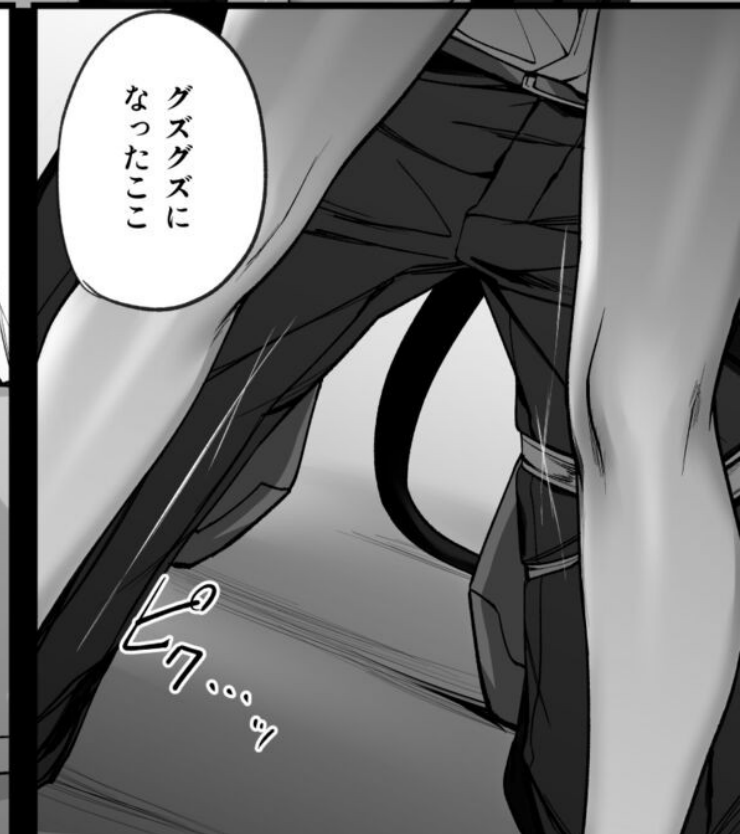
今度は
僕の番だ



奥まで
舐めてあげるから

ちゃんと
精気吸わせろよ

ま……っ



グズグズに
なったここ



だっ
だめです
そこお♡

チッ……
何なんだよ

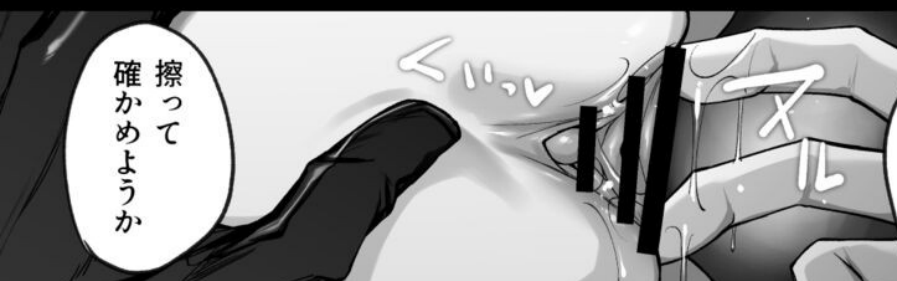
だめ？
前より感じてるの
味で
わかるんだけど

んあッ

そっ
そんな
ことお……っ



ああ
じゃあ
Gスポ限界に
なるまで



擦って
確かめようか



ははっ



すっごく
濃いのが
溢れてくる

もっとリズの
本気汁飲ませて



ああ

やらしい…おとつ
たてないでえっ♡



あー……くそ
これ続けてると



僕まで
おかしく
なりそうだ



アミ

どうすれば
良いのか
覚えてるよね？

リズ
こっちに來い



あ……
その眼で
見下されると

≠…ッ



まるで
犬みたいだ

キャ

は……
早く嗅ぎたい♡
舐めたい♡

ッ……♡



思ひ出しちゃう……
ギル様のおちんぽに
ご奉仕してた時のこと……♡

あはは
恥ずかしげもなく
がつつき過ぎだよ

とろろ♡

は……♡

は……♡



あ♡あ♡
裏筋……
カリの段差……
凄く濃い匂いにする



我慢できないっ♡

ッ……



ほら
好きにだけ
嗅いで良いよ



あーあ
まだ舐めて良いって
言っていないんだけどな

あ……っ♡
ごめんなさ……



仕方ないな

ちゃんと
僕のこと
満足させろよ



良いよ

僕のちんぽ
しゃぶりながら



は……
ふあいつ♡



ねえ
ずっと
腰動いてる

いつもみたいに
オナニーしたい？



気持ちよく
なってるどころ
見せて



は……

必死過ぎて
……可愛い



ねえ

普通に
するだけで
満足なの？

違うよね

本当は





……最初の反応さ
想像したこと
あるんだろ？

いつも優しく
イかせてあげる僕が

オス丸出しにして
君を犯すところ



すぐイっちゃう
雑魚まんこに
調教されたのに

ハメて
貰えなくて
辛かった？

あ……
うう♡♡



ごめんね
でも……ちゃんと
気持ちよく
してやるからさ

あ……♡

……僕のこと
これ以上
拒まないで



チッ

……リズ

僕は初めて
あった日から
ずっと

君のことが
好きだ

……くそ
キツ過ぎ……



本当は
こんな形で
したくなかったよ

もっと
優しくして
甘やかして

僕だけに依存させて
魔法
魅了を使わなくても
君から求めて欲しかった

う…嘘……
また私を
騙そうとして……



じゃあもうひとつ
本当のことを
教えてあげる



そう
だよな



簡単に…

信じられる
とでも……？



淫紋さ……
奴隷の証
なんかじゃ
なかったんだ



もっと早く
こうしてやれば
良かったね

なに……？
子宮が熱い……

本当は
避妊の魔法だよ



今までこんな
我慢してきたのに

これ以上
我慢できるわけ
ないだろッ

あははっ
いったあとの
キツッとおまんこ

無理矢理
掘られちやうの
好きだな……♡

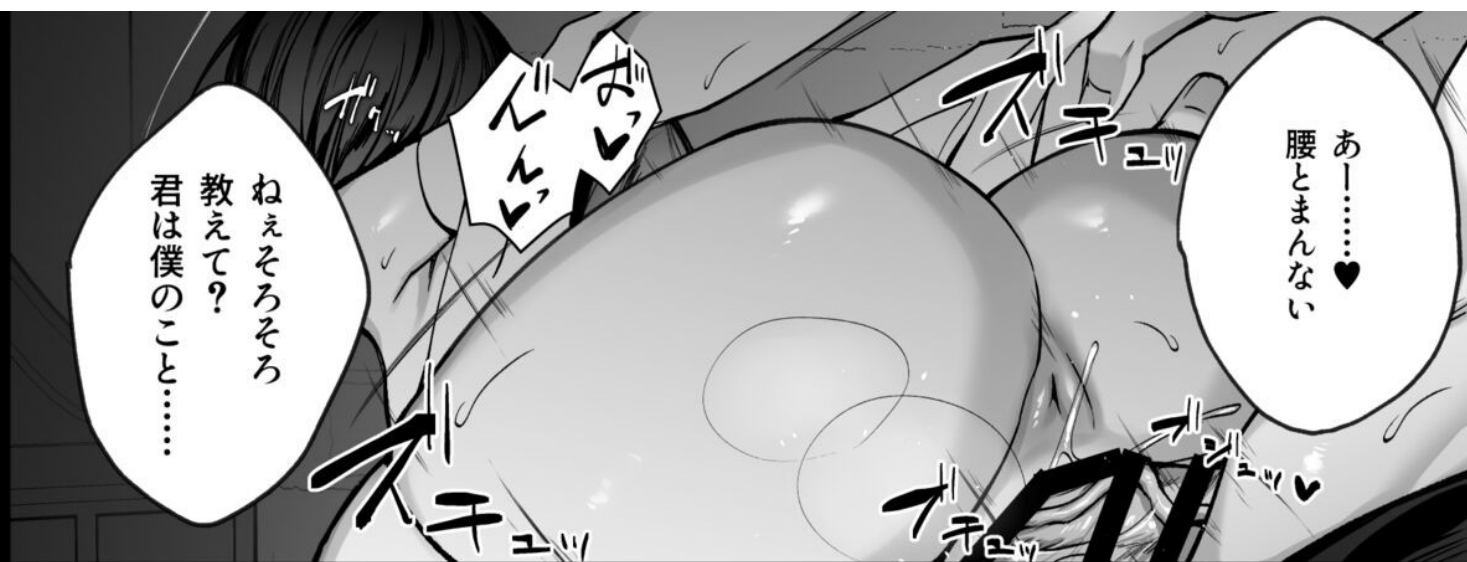
こんなの
覚えたら
もう

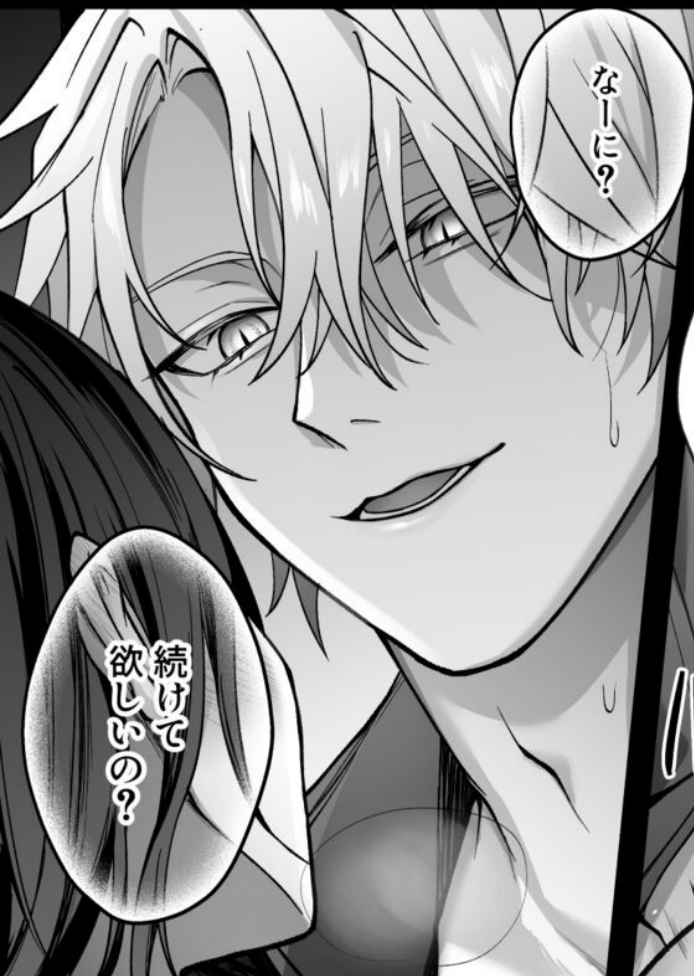
僕なしじゃ
生きていけなく
なっちやうよね

リズ……♡

や……♡
だめ……♡

このままじゃ
吸い殺されちやう……♡





あ……
我慢
できない♡





はっ
良い表情



……
ごめんね
好きだよ♡

だから……
もっとうじめて
ください♡



ちゃんと
一緒にいって？
リズ



そろそろ
限界だし

今はそれで
許してあげるけど



おっ♡
おちんぼ

きた、あ♡



偉い 偉い

出来る
ように……

少しは
我慢……

どうして我慢
出来ないのかな

おっ

……
はっ？
それ

意味わかって
言ってる……？

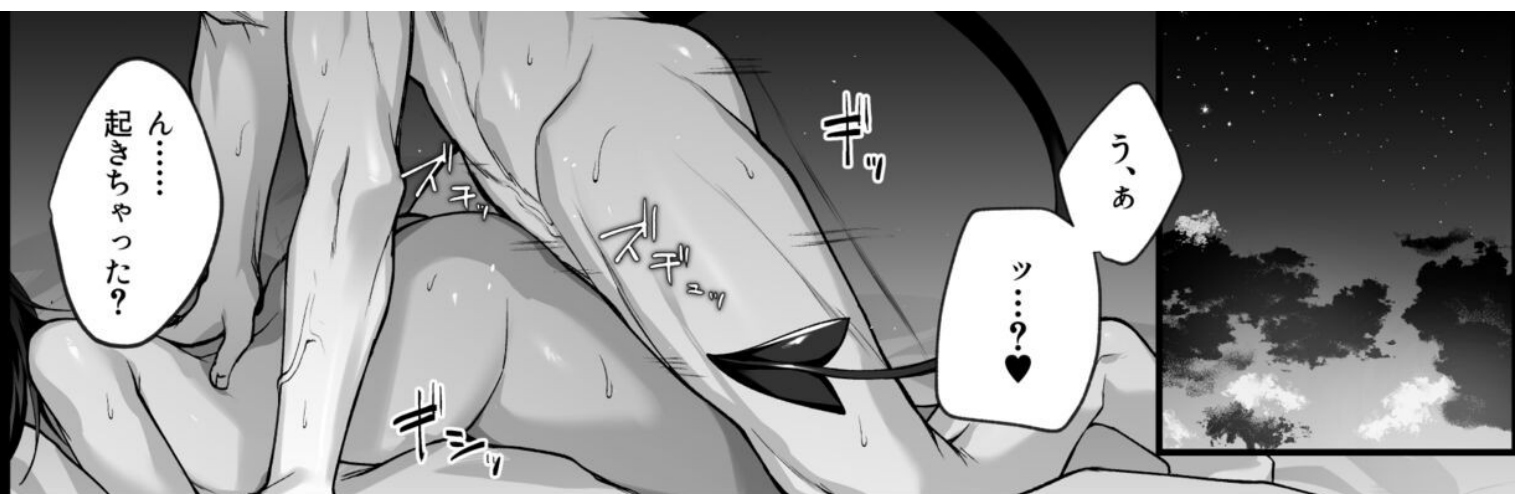
あーもう……ッ
出してやるから

はっはやく
ギル様の

中にはし
くてえ……っ♡

って……
言ったそばから
また
漏らすなんて

ちゃんと
受け止めろ……っ



ん……
起きちゃった？

う、あ

ッ……♡

ギッ

ズン

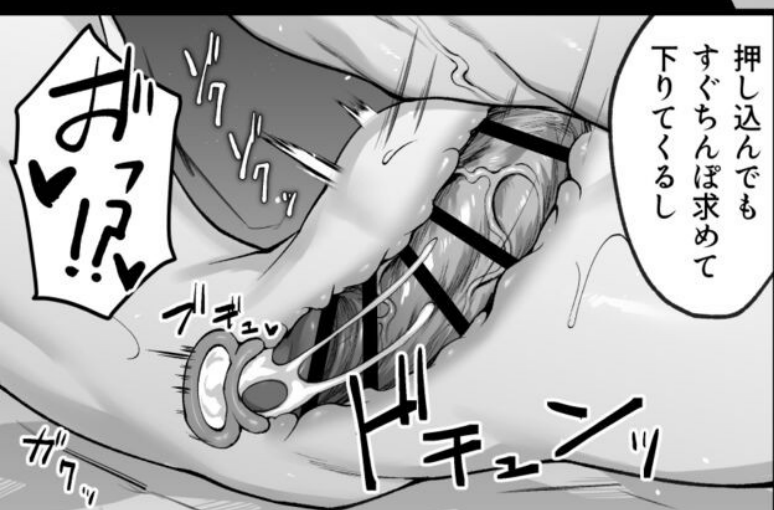
ギン



は……っ
おまんこ
あっさいなあ

ま……っ
えっ♡

ズン



押し込んでも
すぐちんぽ求めて
下りてくるし

おっ！
おっ！
おっ！

ガッ

ドチュンッ



ええ……っ
挿入……っ
ずっと続けて……

ん……

そんな目で
見ないでよ
また濃い
出ちやいそう



数時間まで
処女だったなんて
思えないくらい

僕専用の
形になってるよ？

ギン

おっ……

ズン……

おっ……

耳舐められながら
奥押し付けられるの
だめえ……♡

ズン





はは……
ごめんね

はー♡

はー♡



こんな姿じゃ
もう戻れないと
思うけど

ッ……



それくらい僕は
君が好きだ
愛してる

我慢
出来なかった

また君が
居なくなるかも
しれないと思ったら



僕のために
捨ててよ

僕の知らない
君は
必要ないんだ



僕以外の
全てを忘れて

何もかも
裏切っちゃえば



おっと

死ぬほど
気持ち良いよ



……もう
聖女とか仲間とか
そんなもの
どうでも良いだろ

君が僕を選ぶなら
絶対に幸せにする

もう嘘は
つかない

あ、あ、
は……

はあ

ずっと
傍にいるから
僕を信じて

リズ……

君から
終わりにしてくれ

終わり？
私は最初から……

ギル様が私のことを
愛してくれるなら

それだけで
よかった



.....ああ

やっと
僕のリズに
戻ってくれた



続き?

どうされたいのか
言ってくれなきゃ
わからないな



そんな...っ

早くおまんこ
埋めで欲しいのに...っ♡



あ...
ギル様...♡

続きを...♡



お願いします…♥

ギル様のおちんぽで
私のおまんこ……

めちやくちやに
犯して下さい……っ♥



でも……
凄く興奮した♥



ッ
あのさ……
僕は

そこまでしろなんて
言っていないよな



どうしてっ
ちゃんとお願
したのにっ...

は...

おっぱいばかりで
おちんぽおあすけ
されてる...っ♡

あ...

ぎる
なまあ...♡



はは...

ずっと腰
擦り付けてるの
エロいな...♡

ッ...

ごめんね
そういう顔見ると
意地悪したくなるんだ



おっ

まっ
てッ♡

激しいのっ
こわれるっ♡

ああすっご...ッ
奥の吸い付き
ヤバイ....

ヒキ
グシッ

ヒキ
チッ

おっ

ガクッ



ッ♡

焦らし
過ぎたかな
...くっ

あ♡あっ♡
やっとなえる
ギル様の...っ♡

カクッ





あーあ
またいったね

リズばっかりが
気持ちよく
なるなら

もう
やめちやおうかな



ッ……♡
冗談に決まってる
だろ……

あ……♡
ナカのおちんぽ
もつと大きく♡



わかってる
でしょ？

僕が君で
興奮してて
限界なの……ッ



くっもう
出る……ッ



や……♡
やですっ

私……♡
何でも言うこと
ききますからっ

ギル
さま……あ♡



ビクッ

だめっ
だめえ…っ♡

んあ♡
はあ…♡

アッ
アッ

あっ♡

ビク

もうっ♡
これ以上は

あっ♡
まって…っ！

ダメじゃ
ないよね

待たない

君が僕を
こうさせたんだ

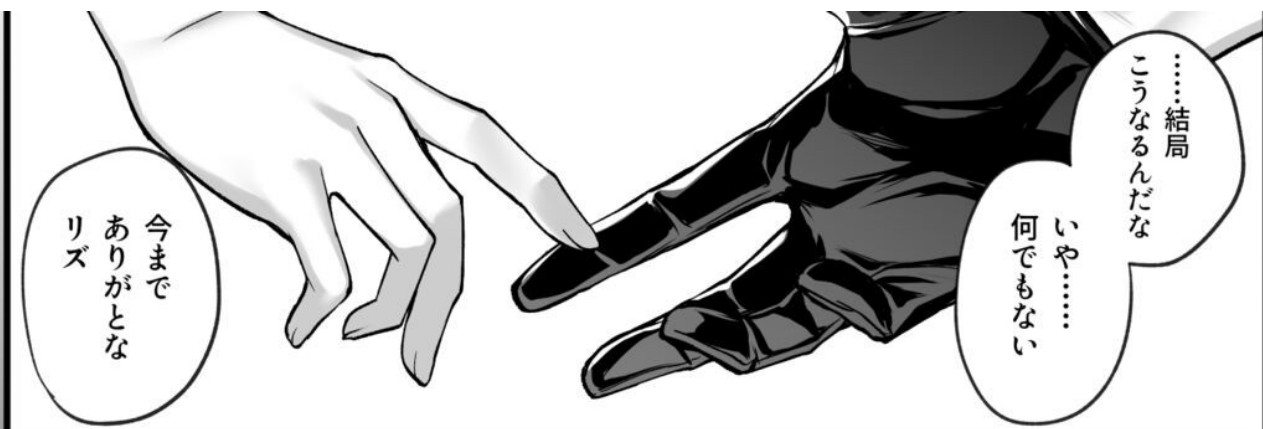
君も今
幸せだよな？

あ…♡

好きだよ
リズ

ちゃんと責任
取ってよ

僕が元の
姿に戻るまでさ



今まで
ありがとな
リス

いや……
何でもない

……結局
こうなるんだな

私は聖女をやめた



助けなくて
良いの？

街の外に
マモノが、

誰か
助けて……っ！

……ふふっ
私に出来ること
なんてありませんよ

だって……
私は普通の女の子
なんですから

そうか……
そうだったね

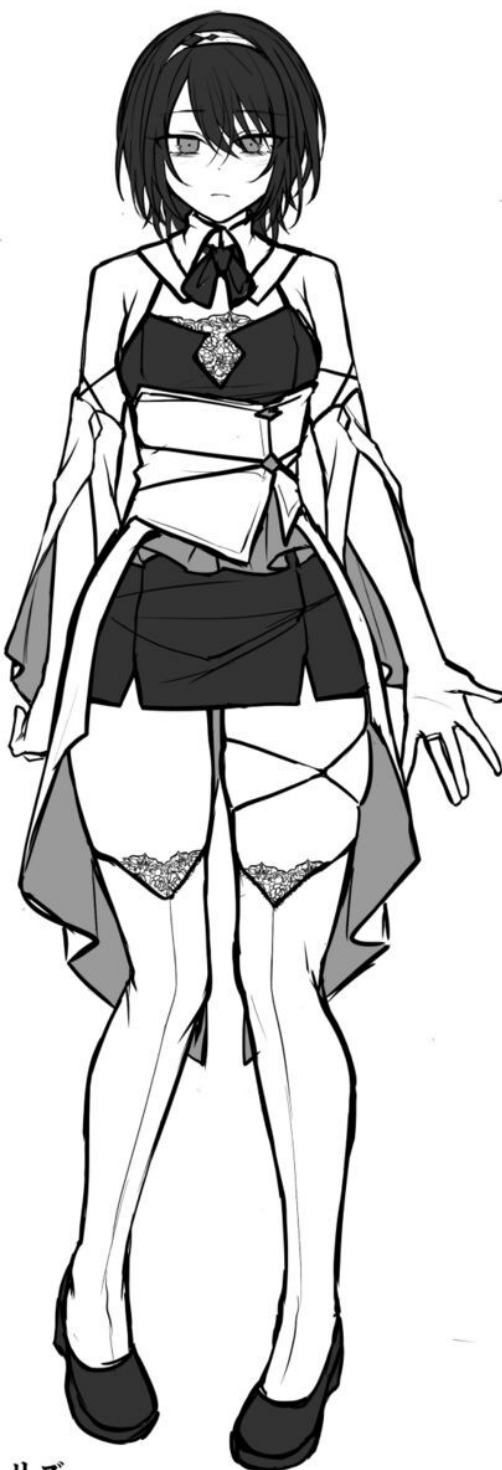
はい
ギル様

帰ろうか



指輪

リズに惚れて半端な吸精しかしない
ギルを見かねた父が与えた指輪。
人間から奪った精気(生命力)を込めたもの。
実はリズが持って行った分以外にも沢山ある。
人間が身に着けると回復魔法
(実際は込められた精気を対象に移すだけ)が使える。



ギル 偽名はレイ

普段は人間のフリをしている淫魔の貴族。
翼と髪が伸びた状態が本来の姿。
正体がバレた際に思ってもないことを言って、
リズに逃げられたことをずっと後悔している。
発情魅了認識阻害魔法が得意。
リズを泣くまでイカせるのが好き。
始めてあったその日にいつか自分が孕ませると決め、
奴隷の証と嘘をついて避妊魔法を掛けた。(一目惚れ)
リズ以外の人間はゴミ程度に思っているのは変わらない。

リズ

ギルの父に村焼き&記憶消去され、
ギルの練習相手にと連れてこられた哀れな奴隷メイド。
ギルによって前後の性器挿入以外は全身開発されている。
屋敷を出て聖女になっても、何だかんだ理由をつけて、
元主人の好きな髪型を維持している。
指輪の犠牲になった人達への罪滅ぼしとして、
その力を人助けに使用している。
吸われるどころか途中から注がれ続けたので、
ほんのちょっとだけモノ化した。(牙と青の眼一金の眼)